

進路と学習を考える

前高ジャーナル



発行 群馬県立前橋高等学校
(編集 進路指導部)
〒371-0011 群馬県前橋市下沖町 321-1
TEL: 027-232-1155 FAX: 027-233-1046
Email: maebashi-hs@edu-g.gsn.ed.jp

2021 年度大学入試を振り返って

◆2021 年度入試トピック◆

- 大学入学共通テスト始まる
- 新型コロナウイルス感染症の影響

1. 大学入学共通テスト

平成 2 年から令和 2 年まで行われたセンター試験に代わって、大学入学共通テストが令和 3 年 1 月 16 日(土)・17 日(日)に初めて実施された。感染対策などを含めこれまでと異なる状況が多く見られた。センター試験からの大きな変更点の一つとして、英語がリーディング、リスニングに 100 点ずつの配点となった。また、公民、理科②では得点調整が実施された。

志願者は 3 年連続の減少となった。志願総数は約 53.5 万人であり、現役生は前年と比べ 0.5%(約 2 千人)減少し、既卒生等は 19.3%(約 2 万人)減少した。既卒生等の大幅減少で現役中心の入試という強い傾向があった。

前高生は学年 7 クラスになって初めての入試を迎えたが、例年通り前橋高校試験会場で 277 名が受験した。ベネッセ・駿台の予想では、5 教科 900 点満点の平均点

【表1】5教科(900点満点)平均点

年度	全国*		前高	
	文系	理系	文系	理系
2017	556	562	659.0	646.1
2018	554	564	648.1	646.9
2019	570	576	671.0	675.6
2020	548	559	665.4	638.4
2021	552	572	670.5	670.3

*全国平均はベネッセ・駿台による推測値

【表2】主要科目の平均点<全国>

年度	2020	2021	差
国語	119.3	117.5	-1.8
世界史B	63.0	63.5	0.5
日本史B	65.5	64.3	-1.2
地理B	66.4	60.1	-6.3
数学ⅠA	51.9	57.7	5.8
数学ⅡB	49.0	59.9	10.9
物理	60.7	62.4	1.7
化学	54.8	57.6	2.8
生物	57.6	72.6	15.0
英語(リーディング)	58.2	58.8	0.6
英語(リスニング)	57.6	56.2	-1.4

大学入試センター発表資料による
2020 英語(リーディング)(リスニング)は
英語(筆記)とリスニングを 100 点換算

2. 国公立大学二次試験

国公立大学の志願者は、前年度と比べて約 1 万 4 千人減少した。大きく志願者を減少した前年度に引き続き 2 年連続の減少となった(【表 3】)。新型コロナウイルス感

染拡大防止のため個別試験を主に共通テストで代替した横国大や宇大では大幅に志願者を減らした。一方で難関国立 10 大学全体の志願状況は前期日程で前年並みであった。後期日程では北大と東工大で募集を廃止した学部があり、10 大学全体の志願者数は減少している。

【表3】国公立大学志願状況(独自日程は除く)<全国>

設置	2020年度			2021年度			志願者 前年比
	募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率	
国立	77,996	307,192	3.9	76,917	295,931	3.9	-11,261
公立	22,150	132,373	6	22,049	129,437	5.9	-2,936
計	100,146	439,565	4.4	98,966	425,368	4.3	-14,197

駿台資料による

前高現役生の大学設置区分別出願状況・合格状況についてまとめた(【表 4・5】)。学級減にも関わらず、国立大学出願数は前年より増加した。卒業生数に対する国公立大学合格数の比率は、高水準だった昨年度を上回り 56%となった。また国公立大医学部医学科の合格数は 24 であり過去 10 年で最高を記録した。

【表4】現役出願状況(延べ人数)

	2017	2018	2019	2020	2021
国立大学	480	438	482	423	431
公立大学	73	61	58	107	60
私立大学	1358	1168	1419	1694	1303
その他	1	9	1	0	3
計	1912	1676	1960	2224	1797
在籍生徒	318	316	321	314	278
平均出願数	6.0	5.4	6.1	7.0	6.5

令和3年4月作成「進路概況」による

【表5】国公立大学合格状況<前高>

設置	現浪	2017	2018	2019	2020	2021
国立	現	126	115	154	148	143
	浪	44	52	62	58	33
公立	現	15	9	11	22	13
	浪	4	5	7	8	3
計	現	141	124	165	170	156
	浪	48	57	69	66	36

令和3年4月作成「進路概況」による

既卒生も東大 3 名合格、国公立大医学部医学科 11 名合格など健闘した。

3. 私立大学一般入試

私立大学の一般選抜入試(推薦・AO 入試等の特別選抜入試を除く)の延べ志願者数は、昨年に引き続き減少した。前年度に比べて約 14%という大きな減少だった。既卒受験生の減少、都市部の大学の敬遠、共通テスト利用方式への警戒などが理由として考えられる。またコロナ禍の影響で外国語系、国際関係系の人気が低下した。

前高生の卒業生数に対する私立大学出願数の比(私立大学平均出願数)は約 4.7 だった。昨年度は約 5.4、一昨年度は約 4.4 であり、私大出願の多かった昨年度から一昨年度に近い水準に戻った。

今年4月作成の「進路概況」の一部を前高 Web ページに掲載しています。また、6月発行予定の『進学の手引』資料編に全データを掲載します。

時代の変化に挑み 続けた生徒たち

令和2年度第3学年主任 **八木 俊樹**

令和3年3月、コロナ禍のなかでの卒業式。卒業生代表の山本雄大君は、「3年間で数多くの変化に直面したが、社会がどう変わろうとも、仲間と協力して一つ一つ丁寧に取り組んでいくこと、愚直に努力を重ねることが大切」と語ってくれた。彼の答辞の通り、生徒一人一人が試行錯誤を重ねながら、変化の多い時代に挑み続けた3年間であった。



2021年3月 卒業式

入試改革元年である新学年は、学びに向かう力や、知識や技能を活用する力を特に重視してスタートした。入学直後の学年集会では、多くの先生方が、大きな志をもって可能性を追求することの大切さを話した。総合学習では、SDGsをもとに、「前高生が解決すべき10の課題」が設定され、グローバルな視点で課題の発見と解決策を考えた。学習や部活動だけでなく、多くの生徒が明石塾やOxbridge研修等の外部教育活動にも熱心に取り組む、ポートフォリオで成長の軌跡を記しながら、主体的に活動する素地を築いた。



2019年4月 総合的な学習の時間

2年次では、前高の中核として指導性と協調性を発揮した。部活動では多くの部が関東・全国大会で活躍し、蛟龍祭や定期戦等の行事でも学校を牽引した。また、土曜AL・外部教育活動の報告や発表をしたり、成長の軌跡をクラスでプレゼンしたりすることで、自らの進路についても主体的に考えた。



2019年6月 蛟龍祭

「三兎を追う」ことで、生徒同士で切磋琢磨し合う気運がさらに高まっ

ていくのを感じていた矢先、3月に突然の臨時休校となった。

3年次もコロナ禍でのスタート。長期間の休校は、当



2020年6月 登校時検温

り前だった学校生活がいかに尊いものだったか、皆が思い知らされた。授業が行えず、学習への影響が懸念されたが、生徒は各自で学習課題を設定し、先生方の動画配信も活用しながら主体的に学習してくれた。しかし、学習と同様に努力してきた部活動で、各種競技会や公演等



2020年9月 定期戦団結式

がほぼ全て中止となってしまった。

活動の集大成の場を奪われた生徒の心痛、悔しさ、苦悩は察するに余りある。短い夏休みのあと、分散開催で定期戦だけ

は実施できたが、ついに凱旋歌を歌えず、悔しさが募った。その後間もなく、大学入学共通テストに向けての本格的な準備が始まった。気持ちの切り替えも難しかったであろうが、生徒は常に前を向いて、真摯な努力を続けた。年末年始の学習では、皆で励まし合って大きな山を乗り越えようとする姿があり、後期試験の終了まで、全力を尽くそうとする姿があった。新時代の幕開けの学年として、何事にも全力で取り組む前高生の伝統を継承するとともに、挑戦を続けるなかで、新たな学びの場や価値観を創出してくれた生徒諸君を本当に誇りに思う。これからは前高の卒業生としての矜持を忘れず、変化を恐れずに、さらに大いなる成長を遂げて欲しい。



2021年1月 大学入学共通テスト

最後に、素晴らしい生徒と先生方に恵まれ、充実した幸せな3年間を送ることができました。この場を借りてお礼申し上げます。どうもありがとうございました。